

今回は、ある若い社長の手記を紹介します

今、会社の寿命はどんどん短くなっている。こういう話はどこかで一回や二回くらいは聞いたことがあると思う。こないだある人から聞いた話だが、「25 年間存続する会社はほとんどない」「50 年間になると、もう限りなくゼロに近い」ちなみに創業から 3 年以内で潰れる会社は、7 割以上なんていうデータもあるみたいだ。要はほとんどの会社はそんなに長くもたず、潰れていくというコト。これは統計的な事実だ。会社で働いていると、今いる環境が永遠に続くように感じてしまうが、それは幻想である。事實は潰れてなくなる企業がほとんどで生き残る企業が数パーセント。さて、ここで 1 つ恐ろしいコトを考えてみて欲しい。25 年後に 98% の会社が潰れるとしたら、25 年後、98% の確率であなたは今いる会社で働いていないコトになる。つまり、98% の確率で失業者になるということだ。その時、あなたは何歳になっているだろうか？ 考えてみると非常に恐ろしい事実。世の中のほとんどの人は、この事実が見えない。見えても見たくないのか、どうかはわからないが。ちなみに僕は今年で 26 歳なので 25 年後は 51 歳。51 歳で失業するのは辛いものがある。

このような状況を回避するためには、あるいはこのような状況になっても大丈夫な状態にするには、方法が 2 つあると思う。1 つは今の会社を 25 年以上、50 年以上、続く会社にすること。1 つはあなた個人の能力を上げていくつになっても仕事に困らない自分を創り上げること。僕が思うに、あなたがこの先失業者にならないようにする方法はこの 2 つしかない。そして、この 2 つをどうやって実現すればいいか？

1 個目の課題は、なかなか難題で、社長である僕は、それをどうすればできるかを日々考えている。が、結局のところ、成果を出すのは会社で働いている人たちなので、その人たちのパフォーマンスが低いとどうにもならない。例えば、僕の会社で働いている人たちのパフォーマンスが高ければ、僕が多少バカをやっているもなんとかなる。

2 個目はあなた自身の能力を磨くために目の前のコトを一生懸命やって、新しいコトを学習して、学習したことを身につけてスキルにしていくということを繰り返しやっていく必要がある。つまりどっちにしろ、目の前のコトを真剣に一生懸命やるか、やらないか？ に尽きるということ。目の前のコトを一生懸命やっていたら、会社の業績は上がるし、あなた個人の能力もあがる。結果的には 25 年後もあなたは、素敵な人生を送っている可能性が上がるだろう。ところが、ちょっと手を抜いたからって、業績も給料もそんなに変わらないと考えて適当にやっていると、会社は他の誰かががんばって成長していく可能性もあるが（しかしそれが蔓延すると潰れる）個人の能力は伸びない。なので、あなたは 25 年後大変な目にあっている可能性大だ。最近、この話を聞いて、僕はとても責任を感じている。25 年後に大量の失業者を出さないためにも。25 年後に自分が失業者にならないためにも。今、何をすべきか？ どんな方向に進むべきか？ そんな事を考える。

あなたも考えてみるといい。25 年後、自分はどんな人間になっているか？ 25 年後も楽しい人生を過ごすために、目の前のコトを真剣に一生懸命やって過ごすのは良いアイデアだと思わないだろうか？

Q 1 : 25 年後に困らないようにする二つの方法は？

A 1 : () ()

Q 2 : まずは 10 年後、自分はどんな人間になっているか？ その為に何かしていますか？

A 2 : ()